



図書館 だより

図書館 ☎ 69♦3706

おしえて! 図書館 (レファレンス)

Q クリスマスカードを手づくりして友達に贈りたいな。参考になる本はありますか?

A こんな本はいかがでしょう? 季節ごと、イベントごとのポップアップカードの作り方がたくさん載っています。素敵な手づくりカードでお友達を驚かせちゃいましょう。



かんたん 楽しい 手づくりカードBOOK

やまもとえみこ / 著
日本ヴォーグ社

レファレンスとは情報や本などを探すお手伝いをする図書館のサービスのひとつです。

図書館に入った本



毎月1,000冊以上の本が入ります。
一部をご紹介します♪

『まにまに』
西 加奈子 / 著 KADOKAWA

『だから、生きる』
つんく♂ / 著 新潮社

『さる年のゆる文字年賀状』
宇田川 一美 / 著 誠文堂新光社

『ホットケーキミックスでイベント
おやつ大集合!』
主婦の友社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

空飛ぶタカアシガニ

■タカアシガニ、アメリカへ

10月初旬、大阪の業者と組んで、形原で水揚げされたタカアシガニの赤ちゃんをアメリカ・ネブラスカ州オマハの水族館へ生きたまま輸送することになった。入念に段取りを組んで元気な2匹を選んで送り、飛行機に乗って無事にアメリカに着いた。タカアシガニは現地の水族館で大人気となった。話題が広がり、今度はフロリダの水族館からも注文が来た。フロリダへ送るからカニが欲しい、と形原

の漁師さんに伝えると、フロリダなんて俺が行きたいよ!俺を送ってくれよ!と言って仰天していた。タカアシガニはアメリカでは採れないので「ジャパニーズジャイアントスパイダークラブ(日本のでっかい蜘蛛みたいなカニ)」と呼ばれ貴重で人気だそうだ。ただし、大きいものは死亡したり脚が取れたりして成功率が低く、30センチほどの小さな赤ちゃんしか送れない。それでも生きたまま無事に運ぶには途中の飛行場で水を入れ換えたりして、人件費やリスクを入れると目玉が飛び出るほどの



水族館



館長 小林龍二

竹島水族館
☎ 68♦2059

額になってしまふ。水1キロあたりで数千円もかかるそう。水がないとカニは安全に確実に生きたまま運べないので、水だけでも高いコストがかかってしまふ。無事にタカアシガニの輸送ができたので、お礼に大阪の業者を介してオーストラリア産のフグを手に入れて展示した。日本の水族館で数値しか展示していかない非常に貴重で高価なフグ。カニがフグになって帰ってきた。よかったよかった。

■通訳飼育員大活躍

アメリカからやってきた2人の対応に非常に助かったのは飼育員の塚本の存在であった。塚本は少年時代をアメリカで過ごしていたので少しの英語と少しの日本語と多くの三河弁が話せる、と不安げに言った。すぐに採用され通訳となって活躍。おかげで閉館後は一緒にご飯を食べに行つてさまざまなお話をアメリカ人は笑顔で帰って行った。めでたしめでたし。